



子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081

<https://www.kodomonono-mori.net> mailtp:info@kodomonono-mori.net

J P子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2024年9月号)

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



地震につづき、豪雨災害で被害に遭われた能登の方々に心よりお見舞い申し上げます。

今月号では、「園庭緑化運動」のオンライン10月講座他のご案内と

「SDG s どんぐり劇団」の、能登半島地震で被災された園の訪問レポートをお送りしました。

写真は、オンライン講座の講師である出原先生の「むぎの穂保育園」の緑豊かな園庭風景です。

(目次)

1. 「園庭緑化運動」2024年オンライン10月講座のご案内
2. 「どんぐりSDGs劇団」2024年活動レポート：石川県「平和こども園」
3. リレーエッセイ（2024年9月号）

日本郵政グループからのお知らせ

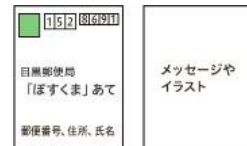
日本郵政グループは「J P子どもの森づくり運動」の支援のほか、子ども達に向けた様々な取り組みを行っています。

【特別協賛】

JP 日本郵政グループ



お手紙をくれたみんなに
ぽすくまからお返事が届くよ!



ぽすくまの動画はこちら



YouTube
ぽすくま【日本郵便】
https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ9A

ぽすくまと仲間たち
© JAPAN POST Co., Ltd.

ぽすくまと仲間たちは郵便局のキャラクターです。ぽすくまは、くまのぬいぐるみの郵便屋さんです。仲間たちもみんな手紙が大好きです。

あて先はこちら

〒152-8691
目黒郵便局「ぽすくま」あて

※ぽすくまへのあて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願いします。返信ご希望の場合は、手紙に住所（建物名・部屋番号まで）・氏名を忘れず記載ください。

1. 「園庭緑化運動」2024年オンライン10月講座のご案内

「P子どもの森づくり運動」では、今年も「園庭緑化運動」の普及を目的に、「国際校庭園庭連合日本支部」との共催で、園庭緑化・自然化をテーマにすぐれた研究や活動を実践されておられる方々にご出講いただき、**多様な園庭づくりの事例を学ぶオンライン講座**を年3回開催します。今回は、今年度最終講座である10月講座をご案内します。

10月講座では、長年の保育・幼児教育研究者としての経験をふまえ、自分の理想とする保育園を設立された**「むぎの穂保育園」(愛媛県東温市)**園長の出原 大先生を講師に迎え、緑豊かな園庭づくりについてお話しいただきます。

受講者数が限定されています。ご希望の方は早めのお申込みをおすすめします。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

【10月講座開催概要】

※講師からのメッセージ：本講座では、子どもたちが主体的に自然物にふれられる環境づくりの事例として、本園の試みを紹介致します。とくに大人が単に自然環境を整えるのではなく、子どもたちと共に行った事例を挙げながらその考察も行いたいと思います。

- 開催日：2024年10月23日(水)14:00~16:00
- 講師：むぎの穂保育園 園長 出原 大先生 (いずはら だい)

⇒ <https://yurinoki-muginoho.com/>

- テーマ：子どもとつくる庭づくり

- 募集人数：先着30名
- 参加費：無料
- 申し込み締切：2024年10月15日(火)
- 申し込み方法

※右のQRコードからお申し込みください。



出原先生

【「こどもの森づくりフォーラム」のご案内】

上記講座の講師の出原先生がプロデュースする「こどもの森づくりフォーラムinえひめ」(以下、フォーラム)が愛媛県で開催されます。フォーラムは、「子どもをもっと森で遊ばせたい」と願う保育・幼児教育関係者と森林・林業関係者が連携して、その機運を高めようという珍しい取り組みです。

今年は愛媛県松山市で、12月1日(日)に開催されます。詳細は、右のQRコードをご参照願います。ご興味のある方は是非、ご参加願います。



2. 「どんぐりSDGs劇団」2024年活動レポート：石川県「平和こども園」

JP子どもの森づくり運動では、トータルエンターテイメントとしてのお芝居の力によって、子どもたちに、森の楽しさや自然や生態系の大切さを感じてもらうことを目的に「どんぐりSDGs劇団」の活動に取り組んでいます。2024年は、1月の能登半島地震で大きな被害にあった石川県の参加園を2園訪問しました。今月号では、「平和こども園」さんのレポートです。レポートは、日吉園長先生からお送りいただきました。

【「どんぐりSDGs劇団」のお芝居から学んだこと】 平和こども園 園長 日吉 輝幸

このたび、JP子どもの森づくり運動の一環として、「どんぐりSDGs劇団」が来園され、楽しいお芝居をとおして学びの時間を与えてくださいました。

当園では、2021年から園を上げてSDGsについて考え、園児の家庭でもSDGsを意識できるように働きかけてきました。JP子どもの森づくり運動や日常の保育をとおして、環境意識はある程度醸成されている



園長先生のお話し



どんぐりえがおダンス

能登半島地震で、山は崩れ、地面は裂け、海底は隆起し、自然の変貌には悲しみさえ覚えました。しかし、これはあくまで人間目線での話であり、自然にとっては当たり前の営みなのだと理解し、むしろ人間が自然を壊さないようにすることを、真剣に考えなければなりません。被災した私たちは、自然の畏敬



と思いますが、お芝居にあったように、「どんぐりは森の生態系の維持に影響し、大きく育った木は生物が生活する森になる。自然は大切にしなければいけない。そして、そこで生活するものたちは仲良くしなければならぬ」ということを、子どもに正しく伝えることが大人の責務ではないでしょうか。



最後は、みんなで「どんぐり～」のポーズ

の念を忘れず、復興に向かいたいと思っています。生きとし生けるものと自然が調和して暮らしていくことが、真の幸せであると信じて。

※穴水町には、まだ、町のいたるところに震災のつめ跡が残っていました。（写真：「穴水大宮神社」の風景）

3. リレーエッセイ (2024年9月号)

認定 NPO 法人森の ECHICA 代表理事 葎田 昭子 (よしだ あきこ) さんによるリレーエッセイの最終回です。葎田先生、これからも、共に「青い鳥」を探し求めていきましょう。3 回に渡る素晴らしい原稿、ありがとうございました。

非認知能力という青い鳥 3

認定 NPO 法人森の ECHICA 代表理事 葎田 昭子



幸せの青い鳥は、足元や肩先にそっと留まって居る。けれど子どもたちは将来のための前倒しが教育と目されることも多く、先を見る、将来に備えろと言われて気づかない。

子どもたちに就きたい職業を問うと、その基準は安定や収入という現実的なものが多く、分別的でつまらない。実際のところ、生きるためと言って、認知能力に目を奪われ、成れるものを偏差値で輪切りにされ、将来のために、タイトルのために一週間の予定は埋まり非認知能力という青い鳥は、もはや虫の息である。

蛙の子は蛙ではダメなのか。トンビが鷹を生んだと言われんがために、子ども自身の質を観ようとせず、劣等感が増幅する。種に優劣はなく、人間が及ばない能力をもち、生態系エコシステムの中に貢献している生命である。

一方人類が生き残ってきたのは、非認知能力に由るところが大きいと思う。蟬が踏み固められた地面を空の方へ穴を開けるように、ネズミが鋭利な歯でクルミを食べるように、獣の換毛期に鳥はせっせと営巣するのと同じように、そもそもその



能力は、自然界にあれば、生き残るよう備わっていたのであって、マニュアルや付度、等価交換という端折りや他意とは無縁だったのではないか。

子どもは、この世界の美しく、奥深いことに驚嘆し、思い通りにならないことがあるから、退屈せず、面白さのためには困難も厭わない熱意が湧き、得手不得手があるから仲間と助け合って今を生きられる。やがて大人になって、そういう人々が集まって暮らすようになると、ようやく温かい血の通った社会になるのではないか。

だから子どもたちには、今をちゃんと試せる遊びが経験できる場所の環境保護が急務だ。瀕死の非認知能力という青い鳥は、自然と共にある人里の水が合う。時計をはずして放してやると目を輝かせて息を吹き返すだろう。

※執筆者紹介

認定 NPO 法人森の ECHICA 代表理事 葎田昭子 (よしだ あきこ)

保育士として 4 年間埼玉県に奉職したあと、ゼロから創る人になりたくて陶芸の弟子となる。陶芸家として16年。3 男の母。2008 年息子の幼稚園が早期教育に転換することを機に仲間と自主保育のようちえん「花の森こども園」を立ち上げる。2021 年地方裁量型認定こども園となり、同園園長。著書に「ようちえんははじめました！」(新評論)

<http://www.hananomori.org>



※ご案内：「第19回森のようちえん全国交流フォーラムin埼玉」開催情報

リレーエッセイの筆者、葎田 明子先生が運営に携わっておられる「森のようちえん」全国交流フォーラムの開催情報です。詳細はホームページ (QRコード) をご参照ください。

